



2013 6th「ファルド シリーズ アジア」日本大会

開 催 日：2013年（平成25年）12月6日（金）7日（土）8日（日）

開催コース：宍戸ヒルズカントリークラブ／静ヒルズカントリークラブ（茨城県）

＜1日目 12月6日（金）：宍戸ヒルズカントリークラブ／東・西＞

＜2日目 12月7日（土）：静ヒルズカントリークラブ＞

＜3日目 12月8日（日）：静ヒルズカントリークラブ＞

本競技においては日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則とこの競技の条件、ローカル・ルールを適用する。
本書に記載の無い事項や追加変更がある場合は、競技規定やプレーヤーへの通知文書、または競技会場での掲示物に記載されるので必ず参照すること。

ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、本競技の条件とローカル・ルールの違反の罰は、2打とする。

プレーの条件

1. 3日間、54ホールズ・ストロークプレーとする。但し、1日目各カテゴリーにおいて予選カットをするものとする。また、天候その他不測の事態が生じた場合は、競技委員会の判断により競技方法を変更する場合がある。
2. 使用ティーマーク。
6日（金）／宍戸ヒルズCC ＜男子の部：西コース・青マーク＞
＜女子の部：東コース・白マーク＞
7日（土）～8日（日）／静ヒルズCC ＜男子の部：青マーク 女子の部：白マーク＞

競 技 の 条 件

1. 競技委員会の裁定
競技委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄について、この委員会の裁定は最終である。
2. 使用球の規格（ゴルフ規則175ページ参照）
『公認球リストの条件・規則付I(c)1b』



3. 使用クラブの規格（ゴルフ規則 174 ページ）

『適合ドライバーヘッドリストの条件・規則付 I (c) 1 a』

4. タイの決定

正規のラウンド（1 日目の 18 ホールズ）が終了して予選通過者にタイが生じた場合は「マッチング・スコアカード方式」により通過者を決定する。なお、最終的に規定のホール終了後にタイが生じた場合は、各カテゴリーごとに「サドンデス」によるプレーオフを行う。そのホールの指定は競技委員会から発表される。

5. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーが金属製・セラミック製、または委員会がそれと同等と認めた鋳を有するゴルフシューズを使用することを禁止する。この条件の違反の罰は競技失格。

6. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

7. ホールとホールとの間での練習禁止（規則 7-2 注 2）

『規則付 I (c) 5 b』（ゴルフ規則 179 ページ参照）

8. プレーの中断と再開

（1）通常のプレーの中断（落雷などの危険を伴わない気象状況）については、規則 6-8 b、c、d に従って処置すること。

（2）険悪な気象状況にあるため、委員会の決定によりプレーが中断となった場合、同じ組のプレーヤー全員がホールとホールの間にいたときは、各プレーヤーは委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。1 ホールのプレーの途中であったときは、各プレーヤーはすぐにプレーを中断しなければならず、そのあと、委員会よりプレー再開の指示が出るまでプレーを再開してはならない。プレーヤーがすぐにプレーを中断しなかったときは、規則 33-7 に決められているような、罰を免除する正当な事情がなければ、そのプレーヤーは競技失格とする。

この条件の違反の罰は競技失格（規則 6-8 b 注）

（3）プレーの中断と再開の合図について

通常のプレー中断 : 短いサイレンを繰り返して通報する。

険悪な気象状況による即時中断 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

プレーの再開 : 1 回の長いサイレンを鳴らして通報する。

または本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

9. 移動

『規則付 I (c) 8 移動』（ゴルフ規則 181 ページ参照）

（委員会が別途認めた場合を除き、プレーヤーは、正規のラウンド中、いかなる移動用の機器にも乗ってはならない）



ローカル・ルール

1. アウト・オブ・バウンズ（OB）の境界は白杭をもって標示する。
2. 白線で標示してある区域は修理地とする。プレーヤーの球がその区域内にある場合や、その区域がプレーヤーのスタンスや意図するスウィングの区域の妨げとなる場合には、プレーヤーは規則 25-1b による救済を受けることができる。
3. ウォーター・ハザードは黄杭又は黄線、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭又は赤線をもってその限界を標示する。
4. 下記物件は J G A 規則 24 条 2 項の「動かさない障害物」とする。
マンホールの金網、コース内の道路及び通路、ボール止めの網、固定スプリンクラーヘッド、その他の人工施設物。
5. 動かさない障害物による障害からの救済はゴルフ規則 24-2 により受けることができる。
加えて、球がグリーン外の手ハザードでない所にある場合で、動かさない障害物がグリーン上又はグリーンから 2 クラブレンジス以内にあり、球からも 2 クラブレンジスの範囲内で、しかも球とホール間のプレーの線上にかかっている時は、その球を拾い上げて、ホールに近づかずに障害物の介在が避けられる手ハザード上でもない場所で、球のあった箇所に最も近い所にドロップすることができる。その拾い上げた球はふくことができる。
6. 樹木の巻物施設はコースと不可分の部分とする。
7. スルー・ザ・グリーンで自己のピッチマークに球がくいこんだ場合は、その球を罰なしで拾い上げてふき、ホールに近づかず、しかも球のあった箇所にできるだけ近い所にドロップすることができる。
8. 距離計測器の使用は禁止とする。正規のラウンド中にプレーヤーのプレーに影響する可能性のある他の条件（例えば、傾斜、風速、気温など）を計測するためにデザインされた距離計測器を使用した場合、そのような付属の機能を実際に使用したかどうかにかかわらず、プレーヤーは規則 14-3 の違反となり競技失格となる。

競技委員長

長峰 全



注 意 事 項

1. プレーの条件、競技の条件及びローカル・ルールに追加・変更があるときは、公式掲示板及びスターティングホールにて掲示して告示する。
2. 組合せスタート時間は別紙の通りとする。欠席者があった場合は、組合せ及びスタート時刻を変更する場合がある。欠席する場合は、必ずコースに連絡をすること。
3. 参加者は、スタート50分前には受付を済ませること。また、スタート時刻15分前には所定の位置（スタート場所）に待機すること。
4. プレーのペースについて……。ハーフラウンド2時間15分以内とする。特に理由もなく先行の組と1ホール以上空けると、1回の警告後、その組全員にペナルティー（2打罰）を科す。（トラブルがあって遅れた場合は、その組全員でその遅れを取り戻すよう努力をする義務があります）
5. スコアカードは指定されたものを競技運営委員より受領し、プレー後スコアカード提出エリアに提出すること。
6. コールオンについて……。ショートホールにおいて後続の組がティーインググラウンドで待っている時には、前の組との間隔を考慮したうえで全員の球をマークして拾い上げ、競技者の判断で後続の組にティーショットを打たせることが出来るものとする。これに応じた後続組の各プレーヤーは自分の球が先行組のプレーの妨げになったり援助になるときは球を拾い上げて良いと先行組に許可を与えたものとする。
7. 本競技はセルフ・歩きプレーとする。ただし、手引きカートの使用は認めるものとする。
8. コース内での携帯電話の使用は禁止する。
※重大なエチケット違反と判断される場合は、競技失格となることがある。
9. 正規のラウンド中（ハーフターンの時も正規のラウンド中）、ギャラリー等との接触においてアドバイズとみなされる行為があった場合は、ペナルティーを科すので注意すること。
10. 競技参加者の氏名・成績等は、ゴルフダイジェスト社のホームページ・携帯サイト・その他雑誌等に掲載されることがあります。また、参加された方には翌年の競技の案内を送付させていただきますのでご了承ください。